

第38回 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」結果概要

○日 時 令和6年6月3日（月）午後3時00分～午後4時20分

○場 所 ライトキューブ宇都宮 大会議室202

○内 容 1 開 会

2 あいさつ（森本委員長）

3 設置要綱の一部改正について

4 報 告

・ ライトラインの利用状況等について

5 議 題

・ ライトラインの整備効果について

6 そ の 他

・ 都心部まちづくりプランについて

7 閉 会

【会議結果】

3 設置要綱の一部改正について

【各委員，了承】

5 議 題

・ ライトラインの整備効果について

【各委員，了承】

【主な発言の要旨】

3 設置要綱の一部改正について・・・資料1

【事務局】

- ・ 資料1説明

【各委員，了承】

4 報 告

・ ライトラインの利用状況等について・・・資料2

【事務局】

- ・ 資料2説明

【中尾委員】

- ・ 資料10ページにある自動車交通量の動向について、どのような方法で調査を行ったのか教えて欲しい。

【事務局】

- ・ 観測用のカメラを設置しているほか、トラフィックカウンターにより交通量を把握していると伺っている。

【長田委員】

- ・ ただいまのご質問に補足させていただく。渡河部である板戸大橋，柳田大橋，新鬼怒橋については，栃木県が設置したトラフィックカウンターにより常時観測している。
- ・ また，鬼怒通りについては，栃木県と共同で設置しているAIカメラを使った交通量の結果を用いた分析を行っている。

【中尾委員】

- ・ トラフィックカウンターとはどのようなものか。

【長田委員】

- ・ 地中に埋め込まれたものの場合，その上を自動車が通過することで台数を把握できるものとなっている。

【森本委員長】

- ・ 今の質問に関連するが、自動車交通量に関しては、E T C 2. 0のデータを県内全域で集めているので、複合的な検討も可能と思われる。
- ・ 周辺の渋滞状況については、市民・県民の関心事項でもあると思うので、関係者の皆様には、引き続き、観測をお願いしたい。

【各委員 了承】

5 議 題

- ・ ライトラインの整備効果について・・・資料3

【事務局】

- ・ 資料3説明

【行政アドバイザー】

- ・ 利用者調査について、乗車駅と降車駅を把握しているということであれば、どのような移動がなされているのかを詳しく分析することで、さらに有益なものになると思われる。
- ・ 例えば、J R宇都宮駅を起点とした郊外方向への移動の傾向把握や、潜在需要の獲得につながるかなど、アンケート結果がさらなる展開への検討に役立つことを期待する。

【事務局】

- ・ 移動状況の分析については、今後、利用者調査の中で得られたデータに加え、交通系 I Cカードのデータなども活用しながら移動状況を分析し、更なる利便性の向上などに努めていきたい。

【行政アドバイザー】

- ・ 当初、一部の方からは車道の車線がつぶされてしまうことによる反対意見があったが、今回の整備効果の中で、交通量については減少したことが確認できた。
- ・ 周辺道路における、渋滞状況についての分析はされているのか。

【事務局】

- ・ 渋滞状況については、先ほど長田先生からもありましたが、宇都宮市東部地域渋滞対策協議会の中で検討していただいている。
- ・ この整備効果の検討の中では、協議会でとりまとめたデータなどを活用させていただきながらまとめていきたいと考えている。

【行政アドバイザー】

- ・ もう1点、33ページで自動車の転換台数の試算をされており、開業前の代表交通手段として、新幹線という項目があるが、実際には新幹線から転換している訳ではないと思うので、表現方法について工夫してほしい。

【事務局】

- ・ 表現方法について工夫させていただく。

【森本委員長】

- ・ 宇都宮国道事務所の道路円滑化に係る検討委員会において、ETC2.0のデータを活用して、渋滞状況の把握をされており、別のデータでも円滑化や交通安全の検討をされていると思うので、違う視点を含めて幅広く検討を行い、情報を共有していただければと思う。

【行政アドバイザー】

- ・ 1点目、33ページにある自動車の転換台数の試算について、新幹線をカウントされているのは、代表交通手段としてだと思う。
- ・ 新幹線で宇都宮駅まで行って、そこから自動車を利用していた人は新幹線としてカウントされていると思われる。
- ・ 代表交通手段として自動車の割合を算出すると、現在示されているものは過小となっているのではないかと考えられるため、代表交通手段ではなく、実際にLRTに転換した部分のトリップを把握することが必要ではないかと思う。
- ・ また、17ページにある送迎負担の軽減について、沿線外の送迎負担が増えていることについて、原因分析をやられているのであれば教えてほしい。

【事務局】

- ・ 代表交通手段については、ご指摘のとおり過小な台数になっていると思われる。
- ・ 今回は、簡易的に試算をさせていただいたものである。
- ・ 送迎負担が沿線外で増加していることについては、今後、所管課と連携しながら引き続き、研究していきたいと考えている。

【望月委員】

- ・ 1点目、アンケート調査をした結果については、富山市と示されたものと似たような傾向にあり、様々な効果が表れているとの認識である。
- ・ 外出率が増えるなど交通量だけではなく、沿線の方々の行動が変わっているということが見えており、有効なデータではないかと思う。
- ・ 一方で、調査結果を詳細に見ていくことも必要であり、今後は、沿線内の居住者の行動が変わっているのか把握するため、居住地と目的のクロス分析など、分析のターゲットを絞りながら、きめ細かく見ていく必要があると考えられる。
- ・ 全体の傾向として、今出ている結果は妥当であると考えているが、より詳細な分析を行って欲しい。
- ・ 2点目、59ページに工業団地の設備投資額の資料があるが、これについては、重要なデータであると思う。
- ・ 開業前にLRTの整備を検討していた際、沿線企業の投資額の増加や従業員人口の増加など、地域の活性化につながる間接的な効果も見込んでおり、安定した通勤環境を整備できるということが、各企業の投資の意欲を高めたのではないかと想定できる。
- ・ 特に、北関東においては、雇用の確保が厳しいという話も伺っており、LRTができることで、就業地としての魅力が高まったということも、投資に効いてきているのではないかと考える。
- ・ 今後とも、どのくらい従業員が増えたか、生産額が増えたかなどについても捉えていただきたい。
- ・ 3点目、高齢者と車を持っていない人の外出率などについては、中長期的に把握していくとの話があったが、今後については、停留場の周辺でどのような施設が増えてきているのか、例えば、医院や塾、スーパーなどの商業施設といったLRT利用者の目的施設が、LRTの施設周辺に立地するかということも把握して欲しい。
- ・ JR宇都宮駅西側への延伸の際のまちづくりにもつながってくると思うので、中長期的な視点のデータ収集として取り組んで欲しい。

【事務局】

- ・ 1点目の詳細なデータ分析については、今後、それぞれの属性別にデータの抽出を行いながら、クロス分析等を行いたいと考えている。
- ・ 2点目の産業活動の動向把握については、今後、市の補助制度の活用額や申請件数、従業員数の維持・増加などについても把握していく予定であり、データが揃い次第、皆様にお示ししたいと考えている。
- ・ 3点目の停留場周辺の施設の立地状況については、今後、データ収集に努めていきたいと考えている。

【大森委員】

- ・ 難しいかもしれないが、知りたいのはLRTの整備効果であり、今回の結果はLRT開業前後の変化であると考えている。
- ・ 今後の詳細な分析の中で、LRTの開業効果とそれ以外の効果というものをわかる範囲で把握して欲しい。
- ・ 特に、R4とR5の変化についてはコロナの影響があるかと思うが、それらを考慮するとLRTの効果とは純粋に言い難いのではないかと。
- ・ また、LRTの非利用者にとっての開業によってもたらされた効果を示せるとよいのではないかと。
- ・ 是非とも、継続的なモニタリングを行いながら、詳細な分析をお願いしたい。

【事務局】

- ・ 調査を継続しながら、LRTの整備効果項目を検討していく中で、こういった検討手法がよいのか、属性をどのように見た方がよいのかなど、皆様の意見を伺いながら検討を進めていきたい。

【森本委員長】

- ・ 大森委員が発言されたような、LRTの整備効果を本当に見たいのならば、ウィズ、ウィズアウトという仮にLRTがなかったらという状況を作り出さないといけない。
- ・ これに関しては、非常に難易度が高いことから、代わりに前後比較の調査を行ったところである。
- ・ 本当の効果だけを抜き取るのは、学術的にも難しいテクニックを要すると思うので、是非とも、宇都宮大学をはじめとする学術研究機関と情報を共有し、わからない

いところを出来るだけ詰めていただきながら、次のステップに進めて行って欲しい。

【長田委員】

- ・ 今後のLRT整備効果検討部会において、皆様からいただいた内容を基に、引き続き、調査結果の分析を行っていく。
- ・ また、交通量・渋滞長に関しては、継続的なモニタリングをこの先やっていこうと動き出しているのので、検討委員会等で状況を報告していきたいと思っている。

【森本委員長】

- ・ 様々な課題があるということは認識しているが、その上で、このような内容で進めているということで、ご了承いただいてよろしいか。

【各委員 了承】

6 その他

- ・ 都心部まちづくりプランについて・・・資料4

【事務局】

- ・ 資料4説明

【東副市長】

- ・ JR宇都宮駅西側の話については、まちをどう変えていくのか、その中で、LRTを含めた公共交通がどのような役割を果たしていくのかということを一体的に議論していきたいと思っている。
- ・ 今まさに、地域との議論を始めたところであり、来年度に向けて、具体的な手法などを含めて計画を詰めながら、LRTの特許申請も進めていきたい。

【森本委員長】

- ・ 最後に、事務局から連絡事項などがあればお願いします。

【事務局】

- ・ 次回の検討委員会については、後日、改めて案内させていただく。

【森本委員長】

- ・ 以上で、本日の議事は全て終了した。
- ・ 本日は、宇都宮市・芳賀町全域における生活行動意識調査及びライトライン利用者調査の報告をいただいた。
- ・ 先ほどの事務局からの説明にもあったように、健康増進効果や中心市街地の消費金額の増加、自動車からの転換や交流機会の増加など、様々な効果が定量的に出てきているところであるが、これらについては継続的に調べていただき、是非とも、この効果を、JR宇都宮駅西側の延伸に向けて、弾みをつけられるような形で活用していただきたい。
- ・ 一方で、地域内交通との連結については今後の課題になると考えている。
- ・ 駐車場などのハード整備に加えて、ソフト施策として乗継利便性向上策等について、スマートシティの枠組みの中で検討するなど、東西軸からはじまった効果を、市域全体及び県央エリア全体に広げていくという努力を継続していただきたいと思っている。
- ・ 良い効果が出ているので、今後、次のステップに向けて、情報交換と連携を強化しながら進めていって欲しい。
- ・ 進行を事務局にお返りする。

【事務局】

- ・ 以上で、本日の会議を終了する。